

おいでまい基準田の生育状況

令和6年産は、生育指標などと比べると成熟期がかなり早まりました。また、稈長はやや短く、穂長は生育指標とおおむね同等となり、穂数はほ場によって差がありました。成熟期の葉色はやや高くなりました。

地区 (田植日)	栽植密度 (株/㎡)	苗長 (cm)	葉 齢 (枚)	植付 本数 (本/株)	植付 深度 (cm)	土壌改良資 材 (/10a)	基肥資材・ 施用量 (/10a)	穂肥① 資材・施用日・ 施用量(/10a)	穂肥② 資材・施用日・ 施用量(/10a)	総施用量 (kg/10a)			田干し	田植30日後頃			出穂18日前頃		出穂期 (葉色)	成熟期 (葉色)	成熟期頃				注4) 病害虫・雑草 の被害			
										N	P	K		草丈 (cm)	茎数 (本)	葉色	草丈 (cm)	葉色			稈長 (cm)	穂長 (本)	穂数	注5) 倒伏	いもち 病	紋枯 病	雑草	
坂出・ 宇多津 (6/20)	30×22cm 15.2株	12.0	2.2	3.4	2.5	苦土一番 20kg	スーパーブレント [®] LP40 20kg(側条施肥)	スーパーブレント [®] LP40 15kg(7/25)	—	—	4.9	4.9	4.9	7/21 ~7/29	49.5	24.9/株 378/㎡	36.6	71.9	36.1	8/27 (32.6)	10/2 (27.9)	73.5	19.6	24.3/株 369/㎡	なし	なし	微	微 (ヒエ)
綾川 (6/15)	30×23cm 14.5株	12.0	2.2	5.4	2.5	—	おいでまい一発 30kg(側条施肥)	—	—	5.4	3.0	3.6	注2)	44.8	25.9/株 376/㎡	42.0	65.7	32.3	8/26 (33.2)	9/30 (32.0)	75.8	21.7	22.7/株 344/㎡	なし	なし	微	微 (ヒエ)	
丸亀 (6/28)	30×22cm 15.2株	12.5	2.3	5.8	3	ユーク鉄ケイカル 100kg	おいでまい一発 44kg(手振り)	—	—	7.9	4.4	5.3	注3)	41.4	31.6/株 480/㎡	32.8	61.2	31.9	8/31 (36.4)	10/4 (35.3)	66.7	20.2	22.3/株 339/㎡	なし	なし	なし	微	
多度津 (6/29)	30×20cm 16.7株	12.5	2.8	4.7	3	—	おいでまい一発 40kg(側条施肥)	—	—	7.2	4.0	4.8	7/24 ~7/31	39.8	35.3/株 590/㎡	35.5	65.6	32.4	8/31 (35.2)	10/6 (33.9)	73.2	18.9	26.5/株 443/㎡	なし	なし	微	なし	
善通寺 (6/15)	30×22cm 15.2株	24.6	2.8	3.6	3	オイスターミネラル 80kg	タキボリン3号 40kg(側条施肥)	朝日BB488 28kg(8/5)	—	9.1	8.2	6.2	7/16 ~7/25	50.7	29.7/株 450/㎡	38.6	78.5	32.0	8/24 (34.6)	9/30 (27.7)	75.8	21.7	22.7/株 344/㎡	なし	なし	微	なし	
琴平 (6/22)	30×23.5cm 14.1株	19.0	2.4	5.2	3	苦土一番 40kg	硫加燐安402 30kg(側条施肥)	硫加燐安402 15kg(8/14)	—	6.3	4.5	5.4	7/20 ~7/25	58.5	51.2/株 717/㎡	35.5	80.2	27.8	8/28 (32.7)	10/8 (24.8)	82.5	20.2	25.1/株 354/㎡	なし	微	少	微	
まんのう (6/16)	30×19cm 17.6株	17.7	2.4	4.6	3	珪酸カルシウム 100kg	プロコートSB588 40kg(手振り)	—	ノルチツソ 10kg(9/6)	11.4	3.2	3.2	7/23 ~7/26	40.1	23.3/株 412/㎡	40.7	79.0	36.5	8/26 (30.9)	9/28 (28.7)	74.7	18.7	22.1/株 391/㎡	なし	なし	なし	なし	
生育指標等 内陸部(6/20) 平野部(6/25) 海岸部(6/30)	株間 18~22cm	—	—	—	—	—	速効性肥料 (側条施肥)	速効性肥料 (出穂18日前)	速効性肥料 (出穂10日前)	7.5	—	—	(6/20植) 7/20~ 7/29	40	30/株	35.0	75	32	(6/20植) 8/28	(6/20植) 10/9	77	19	22/株 370/㎡ 程度	—	—	—	—	
							ツースョット (側条施肥)	ツースョット (出穂18日前)	—	6.5	—	—	(6/25植) 7/23~ 8/1						(6/25植) 8/31	(6/25植) 10/11								
							ワンショット (側条施肥)	—	—	6.0	—	—	(6/30植) 7/25~ 8/3						(6/30植) 9/2 (葉色32)	(6/30植) 10/14 (葉色25)								
農業試験場 作況試験 (6/20)	30×18cm 18.5株	10.5	2.5	4	3.3	—	硫加燐安402 36kg	硫加燐安402 18kg(8/9)	硫加燐安402 11kg(8/16)	9.1	6.5	7.8	7/20 ~8/5	52.5	26.9/株 497/㎡	—	—	—	8/26	9/30	79.5	20.7	21.3/株 393/㎡	—	—	—	—	

注1) 葉色は葉緑素計SPADで測定。

注2) 麦稈すき込みによるガス発生、スクミンゴガイの食害により、田植後1か月間は湛水できなかった。7月12日から湛水を開始。

注3) 田干しは未実施。間断灌水を継続。

注4) 病害虫・雑草の被害は、なし、微、少、中、多、甚の6段階で評価した。

注5) 倒伏は、無倒伏(なし)、微、少、中、多、甚(完全倒伏)の6段階で評価した。

おいでまい基準田 収穫物調査結果

生育指標と比較すると、おおむね㎡当り籾数が多く、千粒重が軽い傾向がみられました。

外観品質については、背白や充実不足の発生により一部のほ場で2等となりました。原因として、登熟期後半の高温や過繁茂による籾数過多、土壌水分不足、肥料切れなどの影響が考えられます。

また、今年は斑点米の割合が高く、カメムシによる被害が多くなりました。食味については、約半数のほ場でタンパクの目標値である6.5%以下を達成しました。

地区	注1) 収穫物調査(kg/10a)				注2) 分解調査				注4) 粒厚分布(%)							注6) 品質判定機による分析結果							注4) 食味計による分析結果				
	全重	精玄米重	くず米重	千粒重(g)	㎡当り穂数(本)	1穂籾数(粒)	㎡当り籾数(粒)	注3) 登熟歩合(%)	千粒重(g)	1.8~1.9mm	1.9~1.95mm	1.95~2.0mm	2.0~2.1mm	2.1~2.2mm	2.2mm~	注5) 外観品質	整粒(%)	未熟粒(%)	被害粒(%)		死米(%)	着色粒(%)	水分(%)	タンパク(%)	アミロース(%)	スコア(点)	
																			胴割粒(%)	斑点米(%)							
坂出・宇多津	1675	468	43	20.8	409	80.4	32,861	74.2	19.9	11.3	22.4	27.4	23.7	8.1	7.1	2等上(背白)	74.7	19.0	5.4	1.2	2.3	0	0.8	16.9	6.2	19.2	82
綾川	1798	558	31	21.5	415	87.8	36,401	85.1	21.1	14.3	21.6	26.7	24.4	9.4	3.6	1等下	81.7	14.9	2.6	0.6	0.4	0	0.8	16.7	6.5	19.2	78
丸亀	1434	420	26	20.8	377	72.6	27,374	84.5	20.9	20.8	26.6	20.9	20.0	6.8	4.8	2等上(背白、充実不足)	72.1	20.2	7.1	0.8	3.0	0.0	0.6	16.8	7.3	19.1	71
多度津	1548	468	51	20.9	464	75.3	34,943	77.8	20.4	24.5	26.1	20.3	17.3	6.4	5.3	2等中(背白、充実不足)	72.2	23.0	3.8	1.0	0.7	0.6	0.3	16.8	7.4	19.2	70
善通寺	1875	583	32	22.2	459	74.6	34,239	84.8	21.8	10.4	17.9	24.5	28.4	11.6	7.1	1等下	68.3	24.7	6.0	0.4	2.6	0.1	0.8	16.7	6.9	19.5	73
琴平	1690	499	36	22.3	403	84.4	34,044	78.9	21.3	14.5	22.7	25.5	25.2	7.7	4.5	1等下	69.3	23.3	6.4	1.4	2.0	0.2	0.7	17.0	6.7	19.5	76
まんのう	1566	453	37	21.6	-	-	-	-	-	15.4	23.1	26.8	24.3	7.0	3.4	1等中	74.6	20.2	5.0	0.2	2.5	0	0.2	16.2	6.4	19.2	80
生育指標	-	-	-	-	400	70	28,000	80	22.3	-	-	-	-	-	-	1等	70以上	-	-	-	-	-	-	-	6.5以下	-	-

注1) 収穫物調査は30株を刈り取って調査。

注2) 分解調査は生育調査株のうち平均的な10株を対象に実施。

注3) 登熟歩合は、篩目1.85mmを使用した結果である。

注4) 粒厚分布、および食味計による調査はサタケ製米粒食味計「RLTA10B」により調査。

注5) 外観品質はJA香川県で検査を実施。1等(上、中、下)、2等(上、中、下)、3等の7段階で評価し、2等以下は落等理由を記載した。

注6) 静岡製機製 穀粒判別機「ES-1000」により調査。